えこらいふ大竹 通信　7号

令和２年５月発行
発行者　ＮＰＯ法人**えこらいふ大竹**
発行所　大竹市玖波１－２－２１
TEL　０８２７－５７－７５６８
http://ecootake2.stars.ne.jp/
E-mail：ecootake2@gmail.com

こんにちは、長い間、「**えこらいふ大竹**」通信の発行ができていませんでした。　久しぶりの発行です。

コンポストNEWS

＊基材のピートモスを竹パウダーに変更

ダンボールコンポストに、永年使用していた基材のピートモスは、複数の植物の堆積・腐植化した泥炭層から切り出した有限資源であるため、見直しを行い、里山の保護のため竹を切り出して作られる竹パウダーに変更になりました。

あなたも環境について考え行動しませんか？

＊木枠コンポストの導入

現在、大竹市では落ち葉や草刈りした雑草などは、「**もやすごみ**」としてごみ出しするようになっています。それを堆肥にして利用できないかといろいろ調べてみたところ、「木枠コンポスト」という物を見つけました。我がグループで、家庭用に試作し、実際に使用してみて、使えそうだということになり、現在市内の

・恵川児童公園　（玖波１丁目内：１基）
・コミュニティサロン玖波　（２基）

に設置し、運用しています。
また市内１２カ所以上で、市民の協力で、庭や畑で実際に使用されて立派な堆肥になっています。
興味のある方は、事務局まで連絡をお願いします。

木枠コンポスト

60 ㎝×60 ㎝×20 ㎝の枠を３段重ねにして運用している
（容量：約 200 ﾘｯﾄﾙ）

視察研修について

令和元年１１月の視察研修は、「はつかいちエネルギークリーンセンター」に行ってきました。平成３１年４月に稼動したばかりの施設です。「流動床式燃焼炉」という、最新式のシステムで、焼却時の熱を利用して発電を行い、施設内で利用するほか、余剰電力は売電しています。
また発生した温水も必要なところに供給しています。
大竹市の「もやすごみ」はここで焼却されています。

廿日市エネルギー
クリーンセンターの外観

令和元年度はこんな活動をしました

＊玖波小学校の環境総合学習で、大竹市のごみの現状や、生ごみリサイクル学習として４年生児童にダンボールコンポストの授業を実施しました。　また、
できた堆肥を使ってダイコンを栽培し、収穫しました。
＊市内での、大きなイベントの一つ、コイこいフェスティバルに出店し、ダンボールコンポストの展示、できた堆肥を使った野菜の販売を行いました。

以前のコイ・こいフェスティバル
でのブースの様子

会員募集中

私たちの活動に興味のある方、エコや野菜、花作りに興味のある方、毎日時間に余裕のある方、仲間になりませんか？
空いた時間を私たち NPO 法人の活動に費やしませんか？
年会費は 1,000 円です。ご入会を会員一同お待ちしてます。
お問い合わせは事務局　☎５７－５９７７(黒田　孝士)　まで